

令和7年度

大分県立高等特別支援学校入学者選考実施要項

大分県教育委員会

目 次

第1	基本方針	1
第2	募集	1
1	募集人員	1
2	応募資格	1
第3	日程	2
第4	受検上の配慮	2
1	申請手続き	2
2	特別な配慮事項の例	2
第5	出願前個別教育相談	3
1	出願前個別教育相談の申請	3
2	実施期間	3
3	来談者	3
第6	第一次入学者選考	3
1	出願	3
2	志願書類	3
3	志願書類の提出	3
4	志願書類の受付	4
5	入学検査料	4
6	県外からの出願	4
7	検査	4
8	合格者発表	5
第7	第二次入学者選考	5
1	第二次入学者選考の実施	5
2	出願	6
3	志願書類	6
4	志願書類の提出	6
5	志願書類の受付	6
6	入学検査料	6
7	県外からの出願	7
8	検査	7
9	合格者発表	7
第8	その他の事項	7
1	欠員の補充	7
2	入学者選考結果の本人提供	8
3	その他	8
様式		
様式1号	入学願書	9
様式2号	受検票	9
様式3号	入学確約書	11
様式4号	医師診断書	12
様式5号	調査書	13
様式6号の1	大分県立高等特別支援学校入学志願許可願	18
様式6号の2	大分県立高等特別支援学校入学志願許可書	20
様式7号	身体に障がいのある受検者に関する配慮申請書	21
様式8号	その他の事情に関する配慮申請書	22
様式9号	大分県立高等特別支援学校入学者選考出願前個別教育相談申請書	23

令和7年度 大分県立高等特別支援学校入学者選考実施要項

令和7年度における大分県立高等特別支援学校（以下「県立高等特別支援学校」という。）の入学者選考は、この要項の定めるところにより実施する。

第1 基本方針

県立高等特別支援学校の入学者選考は、入学を希望する者について特別支援学校対象の障がいがあるか確認する。

その上で、学校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定する。その際、学校の特色に配慮しつつ、志願者の障がいの程度及び資質や能力等を適正かつ総合的に評価する。

第2 募 集

1 募集人員

(1) 学校名、学科名、学級数

大分県立さくらの杜高等支援学校 産業技術科（専門学科） 4学級（単一障がい学級）

(2) 募集人員

32名

第一次入学者選考は、定員と同数を募集する。

第二次入学者選考は、第一次入学者選考における欠員数を募集する。募集人員を満たした場合、第二次入学者選考は実施しない。

2 応募資格

学校教育法施行令第22条の3に示す知的障がいの程度に該当し、下記のすべての事項に該当する者

(1) 次のいずれかの条件を満たす者

- ① 中学校、義務教育学校若しくは特別支援学校中学部を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法施行規則第95条の各号に該当する者

(2) 卒業後、一般就労※を希望する者

※一般就労・・・一般の企業などで雇用契約に基づいて就業すること

(3) 志願する学校が実施する出願前個別教育相談を受けている者

第3 日 程

入学者選考に係る日程は下記のとおりとする。

出願前個別教育相談	県立高等特別支援学校長が別に定める
県外からの入学志願者許可申請	令和6年 9月30日(月)～10月11日(金)
第一次入学者選考 出願期間	令和6年11月11日(月)～11月15日(金)
第一次入学者選考 検査日	令和6年12月10日(火)
第一次入学者選考 合格者発表日	令和6年12月16日(月)
第二次入学者選考 募集人員発表日	令和7年 1月 9日(木)
第二次入学者選考 出願期間	令和7年 1月27日(月)～ 1月29日(水)
第二次入学者選考 検査日	令和7年 2月 4日(火)
第二次入学者選考 合格者発表日	令和7年 2月 6日(木)

第4 受検上の配慮

1 申請手続き

(1) 申請書の提出

受検上の特別な配慮が必要な場合、卒業見込みの者が在籍又は卒業した中学校、義務教育学校若しくは特別支援学校等(以下中学校等)の校長は、出願前個別教育相談時に県立高等特別支援学校長に申請書(様式7号又は様式8号)を提出する。

(2) 配慮内容の決定

県立高等特別支援学校長は、志願者及び中学校等の校長と協議の上、特別な配慮の内容を10月末までに決定する。

2 特別な配慮事項の例

検査時間の延長、問題文の読み上げ(別室)など

第5 出願前個別教育相談

1 出願前個別教育相談の申請

入学志願者は、「大分県立高等特別支援学校入学者選考出願前個別教育相談申請書（様式9号）」を県立高等特別支援学校長へ提出し、必ず期間内に相談を実施すること。

2 実施期間

実施期間は、県立高等特別支援学校長が別に定める。

3 来談者

原則として生徒本人、生徒の保護者、学校教員とする。

第6 第一次入学者選考

1 出願

出願期間は、令和6年11月11日（月）から11月15日（金）までの間とする。

2 志願書類

（1）志願書類の送付

入学志願者は、出願前個別教育相談実施の後に、志願書類を受け取ることができる。県立高等特別支援学校長は、出願前個別教育相談実施後に、在籍又は卒業した中学校等の校長に志願書類を送付する。

（2）志願書類

志願書類は以下のとおりとする。

- ① 入学願書（写真貼付）（様式1号）
- ② 受検票（写真貼付）（様式2号）
- ③ 入学確約書（保護者及び在籍又は卒業学校の校長作成）（様式3号）
- ④ 知的障がい有することが確認できる療育手帳の写し又は医師診断書（様式4号）
- ⑤ 調査書（中学校等を卒業して5年を経過した者は不要）（様式5号）
- ⑥ 受検票送付用簡易書留封筒（切手貼付）※長形3号を使用し、送付先を志願者とする
- ⑦ 大分県立高等特別支援学校入学志願許可書（県外より出願時事前に許可を受けた者）（様式6号の2）

3 志願書類の提出

（1）提出先及び提出時間

入学志願者は、出願期間内に在籍又は卒業した中学校等の校長を経由の上、県立高等特別支援学校長に志願書類を提出すること。

志願書類の受付は、出願期間の午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は、午前9時から正午までとする。

（2）その他

郵送の場合は「書留」とし、出願期間内に必着のこと。

4 志願書類の受付

県立高等特別支援学校長は、提出された志願書類を精査の上、受け付ける。

受検票は受検番号を記入して、後日交付する。(送付用簡易書留封筒を使用)

県立高等特別支援学校長は、必要があるときは志願書類の内容について、中学校等の校長に説明を求めることができる。

5 入学考査料

入学考査料は無料とする。

6 県外からの出願

県外の中学校等の卒業見込み者又は卒業で、特別な理由により、本県の高等特別支援学校を志願する者は、出願する前に居住する都道府県又は政令指定都市の教育委員会を経由の上、入学志願許可願（様式6号の1）及び関係書類を添えて大分県教育委員会教育長へ提出し、入学志願許可を受けること。

7 検査

(1) 検査日

令和6年12月10日（火）

(2) 選考会場責任者

選考会場責任者は、県立高等特別支援学校長とする。

(3) 検査場

検査場は、出願先県立高等特別支援学校とする。

(4) 検査内容

① 学力検査

学力検査は、「国語」及び「数学」の2教科を実施し、受検者の基礎学力を把握する。

② 作業能力検査

受検者の社会生活や職業生活に必要な作業能力を把握する。

③ 運動能力検査

受検者の社会生活や職業生活に必要な身体の動き、指示理解、集団での行動力を総合的に把握する。

④ 面接

受検者の入学する意欲、卒業後の就労に関する希望等を確認・評価する。

(5) 検査の出題方針

① 検査問題の作成

検査問題は出題方針をもとに、県立高等特別支援学校が作成する。

② 学力検査

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の中学部（国語科、数学科）の2段階までの内容を参考とする。

国語においては以下の内容を検査する。

ア 文字、語句、文、言葉遣いなど国語における基礎的事項

イ 社会生活で日常的に使用されている外来語、ローマ字、標識、掲示など

数学においては以下の内容を検査する。

- ア 整数や小数などの簡単な計算
- イ 日常生活で使用する重さ、長さ、広さ、図形、時刻・時間など

③ 作業能力検査

以下の内容を検査する。

- ア 作業に対する指示理解・意欲・集中力
- イ 正確性、用具の適切な使用

④ 運動能力検査

以下の内容を検査する。

- ア 「指示を理解し、行動する力」「行動を続ける力」「行動を調整する力」
- イ 「集団への協調性や参加する力」「安全に行動する力」

⑤ 面接

以下の内容を把握する。

- ア 各質問項目における理解力、判断力、表現力
- イ 面接全体における態度、言葉遣いなど

(6) 選考の方法

県立高等特別支援学校の入学者選考は、基本方針に基づき、厳正、公正を期し、県立高等特別支援学校の教育に対する適性、並びに学力検査、作業能力検査、運動能力検査、面接の各検査結果を総合的に判定して選抜により行う。

県立高等特別支援学校校長は、校内に設置する入学者選考委員会にて合格者を決定する。

入学者選考委員会は、校長、教頭、事務長、教員で構成する。

8 合格者発表

(1) 発表期日

令和6年12月16日(月)

(2) 発表場所・方法

発表当日の午前9時に合格者発表専用サイトに受検番号を掲載する。

原則、電話等の問い合わせは受け付けない。サイトを閲覧できない場合は、在籍又は卒業した中学校等を経由して発表内容を確認するよう事前に伝える。

(3) 合格通知書

県立高等特別支援学校校長は、合格者に合格通知書を発送する。また、在籍又は卒業した中学校等の校長あてに選考結果一覧を発送する。

第7 第二次入学者選考

1 第二次入学者選考の実施

第一次入学者選考で欠員が生じた場合は、第二次入学者選考を行うものとし、募集人員を令和7年1月9日(木)に県教育委員会において発表する。

2 出 願

(1) 出願前個別教育相談

「第5 出願前個別教育相談」と同様とする。

ただし、実施していない者は募集人員発表後、出願期間前までに県立高等特別支援学校長に出願前個別教育相談を申し出て、速やかに受けることとする。

(2) 出願期間

出願期間は、令和7年1月27日（月）から1月29日（水）までの間とする。

3 志願書類

(1) 志願書類の送付

入学志願者は、出願前個別教育相談実施後に、志願書類を受け取ることができる。県立高等特別支援学校長は、出願前個別教育相談実施後、速やかに在籍又は卒業学校の校長に志願書類を送付する。

(2) 志願書類

志願書類は以下のとおりとする。

- ① 入学願書（写真貼付）（様式1号）
- ② 受検票（写真貼付）（様式2号）
- ③ 入学確約書（保護者及び在籍又は卒業学校の校長作成）（様式3号）
- ④ 知的障がい有することが確認できる療育手帳の写し又は医師診断書（様式4号）
- ⑤ 調査書（中学校等を卒業して5年を経過した者は不要）（様式5号）
- ⑥ 受検票送付用簡易書留封筒（切手貼付）※長形3号を使用し、送付先を志願者とする
- ⑦ 大分県立高等特別支援学校入学志願許可書（県外より出願時事前に許可を受けた者）（様式6号の2）

4 志願書類の提出

(1) 提出先及び提出時間

入学志願者は、出願期間内に在籍又は卒業学校の校長を経由の上、県立高等特別支援学校長に提出すること。

受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は、午前9時から正午までとする。

(2) その他

郵送の場合は「書留」とし、出願期間内に必着のこと。

5 志願書類の受付

県立高等特別支援学校長は、提出された志願書類を精査の上、受け付ける。

受検票には受検番号を記入して交付する。（送付用簡易書留封筒を使用）

県立高等特別支援学校長は、必要があるときは出願書類の内容について、中学校等の校長に説明を求められることができる。

6 入学考査料

入学考査料は無料とする。

7 県外からの出願

県外の中学校等の卒業見込み者又は卒業車で、特別な理由により、本県の高等特別支援学校を志願する者は、出願する前に居住する都道府県又は政令指定都市の教育委員会を経由の上、入学志願許可願（様式6号の1）及び関係書類を添えて大分県教育委員会教育長へ提出し、入学志願許可を受けること。

8 検査

(1) 検査日

令和7年2月4日（火）

(2) 選考会場責任者

選考会場責任者は、県立高等特別支援学校長とする。

(3) 検査場

検査場は、出願先高等特別支援学校とする。

(4) 検査内容

第一次入学者選考と同様とする。

(5) 検査の出題方針

第一次入学者選考と同様とする。

(6) 選考の方法

県立高等特別支援学校の入学者選考は、基本方針に基づき、厳正、公正を期し、県立高等特別支援学校の教育に対する適性、並びに学力検査、作業能力検査、運動能力検査、面接の各検査結果を総合的に判定して選抜により行う。

県立高等特別支援学校長は、校内に設置する入学者選考委員会にて合格者を決定する。

入学者選考委員会は、校長、教頭、事務長、教員で構成する。

9 合格者発表

(1) 発表期日

令和7年2月6日（木）

(2) 発表場所・方法

第一次入学者選考と同様とする。

(3) 合格通知書

第一次入学者選考と同様とする。

第8 その他の事項

1 欠員の補充

(1) 欠員の補充

やむを得ない事由により入学辞退者が生じた場合、県立高等特別支援学校長は、あらかじめ定めた補欠入学予定者の中から、入学意思を確認した上で、入学予定者に充てる。

なお、入学意思の確認は、入学願書に記載した連絡先への電話により行う。

(2) 欠員補充の時期

入学前年度の2月末日とする。

2 入学者選考結果の本人提供

受検者は、個人情報の保護に関する法律第69条第2項第1号の規定に基づき、次のとおり本人提供を求めることができる。

(1) 対象となる情報

入学者選考で実施した学力検査の教科別得点、作業能力検査の得点、運動能力検査の得点、面接の得点及びその合計点

(2) 請求対象者

受検者本人

(3) 請求期間

① 第一次入学者選考

令和7年1月14日(火)～1月31日(金)

受付は、請求期間の午前10時から午後4時までとする。土曜日、日曜日、祝日は受付をしない。

② 第二次入学者選考

令和7年2月14日(金)～2月28日(金)

受付は、請求期間の午前10時から午後4時までとする。土曜日、日曜日、祝日は受付をしない。

(4) 請求先

県立高等特別支援学校

(5) 持参するもの

受検票(紛失した際は、本人であることを証明するもの。健康保険の被保険者証等)

(6) 提供方法

(5)により本人であることを確認した上で、閲覧により提供する。

3 その他

県立高等特別支援学校長は、出願について虚偽の記載等不正の事実が判明したときは、入学許可後においても許可を取り消すことがある。

受付番号	※	受検番号	※
------	---	------	---

入学願書

大分県立 高等支援学校長 殿

令和 年 月 日

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____

下記のとおり志願いたします。

志願者	ふりがな氏名				志願者写真欄 <small>(受検票と同一のもの)</small> 1 縦4cm×横3cm程度 2 上半身、正面、無帽 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの 4 白黒・カラーは問わず 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと
	生年月日	昭和・平成	年 月 日	日生 () 歳	
	現住所	〒 _____			
保護者	氏名	志願者との関係			
	現住所	〒 _____ 電話番号			
出身学校	学校名	年 月			
	所在地	卒業・卒業見込み			
中学校等 (中学部) 卒業後の状況					

受検票

受検番号	※	
ふりがな	_____	
氏名	_____	
出身学校	_____	
検査会場	_____	

志願者写真欄
(入学願書と同一のもの)
 1 縦4cm×横3cm程度
 2 上半身、正面、無帽
 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの
 4 白黒・カラーは問わず
 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと

大分県立 高等支援学校 科

◎この受検票は受検当日必ず持参すること。

◎この受検票は入学者選考結果の本人提供等が必要になるので受検後、紛失しないよう大切に保管すること。

(切り離さないこと)

(記入上の注意事項)

- 1 「入学願書」、「受検票」は切り離さず、共に記入してください。ただし、※印の欄は記入しないでください。
- 2 氏名は、戸籍記載とおりに記入してください。(保護者氏名は自署してください。)
- 3 「志願者との関係」欄には、例えば、「父」と書いてください。
- 4 「出身学校」欄には、最終の出身中学校又は特別支援学校中学校名を記入してください。
- 5 太字の項目については、該当するものを○で囲んでください。
- 6 満年齢は令和7年4月1日現在で記入してください。
- 7 卒業後の状況は、現状等を具体的に記入してください。例えば、就職や家事従事などの状況とその期間等。

大分県立高等特別支援学校用

受付番号	※ 記入しない	受検番号	※ 記入しない
------	---------	------	---------

入 学 願 書

令和 6年11月00日

大分県立 高等支援学校長 殿

志 願 者 氏 名 咲良 杜太郎

保 護 者 氏 名 咲良 杜男

下記のとおり志願いたします。

志 願 者	ふりがな	さくら もりたろう	志願者写真欄 <small>(受検票と同一のもの)</small> 1 縦4cm×横3cm程度 2 上半身、正面、無帽 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの 4 白黒・カラーは問わず 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと	
	氏名	咲良 杜太郎		※戸籍記載どおりに記入
	生年月日	昭和・平成 () 年 () 月 () 日生		() () 歳
保 護 者	現住所	〒87×-×××× 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 マンション〇〇 〇〇号	父	
	氏名	咲良 杜男	志願者との関係	
出 身 学 校	現住所	〒 _____ 同上	電話番号	
	学校名	〇〇市立〇〇中学校	令和〇年 3月	
中学校等 (中学部) 卒業後の状況	所在地	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	卒業見込み	
			卒業	

令和7年度 大分県立高等特別支援学校入学者選考

受 検 票

受検番号	※ 記入しない
ふりがな	さくら もりたろう
氏名	咲良 杜太郎
出身学校	〇〇市立〇〇中学校
検査会場	〇〇高等支援学校

志願者写真欄
(入学願書と同一のもの)
 1 縦4cm×横3cm程度
 2 上半身、正面、無帽
 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの
 4 白黒・カラーは問わず
 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと

大分県立 高等支援学校 科

◎この受検票は受検当日必ず持参すること。

◎この受検票は入学者選考結果の本人提出等が必要になるので受検後、紛失しないように大切に保管すること。

(切り離さないこと)

(記入上の注意事項)

- 1 「入学願書」、「受検票」は切り離さず、共に記入してください。ただし、※印の欄は記入しないでください。
- 2 氏名は、戸籍記載とおりに記入してください。(保護者氏名は自署してください。)
- 3 「志願者との関係」欄には、例えば、「父」と書いてください。
- 4 「出身学校」欄には、最終の出身中学校又は特別支援学校中学校名を記入してください。
- 5 太字の項目については、該当するものを○で囲んでください。
- 6 満年齢は令和7年4月1日現在で記入してください。
- 7 卒業後の状況は、現状等を具体的に記入してください。例えば、就職や家事従事などの状況とその期間等。

(様式 3 号)

入学確約書

令和 年 月 日

(入学願書を作成した日を記入する。)

大分県立

高等支援学校長 殿

在学又は出身学校名 _____

志願者署名 _____

保護者署名 _____

わたくしは、貴校に入学したいので、令和 年度大分県立高等特別支援学校に合格した場合は、相違なく入学することを確約します。

※

上記のことを承知しています。

学校長

校長署名

なお、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第95条の規定に該当する志願者は、入学確約書を志願校の校長に、志願者本人から直接提出するため、※欄の記入は不要である。

(様式 4 号)

医 師 診 断 書

氏 名

生年月日

年

月

日

診断名 (障がい名)	
所見 (障がいの状況等)	

上記のとおり診断する。

令和 年 月 日

住 所

病 院 名

医師氏名

Ⓔ

(記入にあたっての留意点)

- 1 本診断書は、知的障がいの状態を証明するものとして求めています。対象生徒が知的障がいの状態であることが分かるように記載してください。
- 2 発達検査名・検査結果等を所見欄に記載又は添付してください。なお、各検査結果等は本診断書作成日より1年以内の検査情報を記載してください。(最新のもの)
- 3 所見については、知的面に同年齢の子どもと比較して平均水準より明らかに遅れがあること(他人との意思疎通の様子、自己管理や対人関係の形成などの適応能力、日常生活に必要な援助等)を可能な限り記載してください。

調 査 書

受付番号	※	受検番号	※
------	---	------	---

大分県立高等特別支援学校用

ふりがな 志願者氏名		生年月日		年 月 日	
学 籍		中 学 部 平成・令和 年 月 日 学校 特別支援学級 (学級種:) 卒業・卒業見込み 通常の学級			
障がいの状態等		(主) 知的障がい	(併)	疾病等	
手帳	療 育 手 帳	有・無	判 定	交付年月日	
	身 体 障 害 者 手 帳	有・無	判 定	交付年月日	
	精神障害者保健福祉手帳	有・無	判 定	交付年月日	
諸検査	知能検査	検 査 名			(結果・IQ等)
		実施機関			
		令和 年 月 日 実施			
	社会生活能力検査	検 査 名			(結果・IQ等)
		実施機関			
		令和 年 月 日 実施			
<input type="checkbox"/> 学習の記録					
教科等	評定			教科等の学習における記録	
	1年	2年	3年		
国 語					
社 会					
数 学					
理 科					
音 楽					
美 術					
保健体育					
技術・家庭					
外 国 語					
特別の教科 道徳					
総合的な学習の時間					

(様式5号裏面)

自立活動	
特別活動の記録	
職場体験学習の記録	

<input type="checkbox"/> その他の事項	
性格・行動の特徴	
学習や集団参加の様子	
健康に関すること	

<input type="checkbox"/> 合理的配慮の提供等

学年	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	出欠状況	
				主な理由	特記事項
1年					
2年					
3年					

記載責任者氏名

上記のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

学校

学校長

印

調査書作成上の注意

- 「※」欄は、記入しないこと。
- 記入事項のない欄については、左上から右下に斜線を引くこと。
- 「志願者氏名」欄について
 - ・戸籍記載どおりに記入し、「ふりがな」を忘れないように記入する。
- 「学籍」欄について
 - ・該当する項目を○で囲む。特別支援学級に在籍している志願者は「学級種」を記入する。
(例：知的)
- 「障がいの状態等」欄について
 - ・主たる障がい（知的障がい）の他に併せ有する障がいがある場合は「(併)」欄に記入する。
(例：視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱)
- 「疾病等」欄について
 - ・内部疾患（持病、てんかん発作、感染症等）、自閉症スペクトラム等があれば記入する。
- 「手帳」欄について
 - ・各種手帳の有無について、どちらかに○印をつける。
 - ・手帳有りの場合は、「判定」欄に等級を記入する。
 - ・手帳の交付年月日を記入する。更新等で再判定をしている場合はその年月日を記入する。
- 「諸検査」欄について
 - ・知能検査については、中学校（中学部）に入学してから実施した最新の実施結果を記入する。
未実施の場合は、**必ず調査書提出前に実施**すること。
 - ・実施した検査名、実施機関名、実施年月日、結果等を記入する。
 - ・学校で実施した場合は、実施学校名を記入する。
 - ・知能検査とは、「田中・ビネー式知能検査」、「W I S C—IV知能検査」等を指す。
 - ・「W I S C—IV知能検査」は、全検査 IQ (FSIQ) と併せて、**各指標も記入**すること。
 - ・社会生活能力検査とは、「第3版 S-M 社会生活能力検査」、「Vineland-II」等を指す。
 - ・社会生活能力検査は検査結果と併せて**各項目の結果も記入**すること。(例：8歳5か月 → 8-5)
- 「学習の記録」欄について
 - ・志願者の現在の学習状況や内容が分かるように**評定、又は簡潔な文章**で記入する。第3学年の評定については、**1学期の成績によって判定**するものとする。
 - ・教育課程上実施していない教科がある場合は、左上から右下に斜線を記入する。
 - ・各教科等を合わせた指導を行っている場合は、「教科等」欄のそれぞれ該当する教科（合わせている教科）に学習状況や内容を簡潔に記入する。
 - ・「自立活動」欄は、指導内容や学習状況等を具体的に記入する。
 - ・「特別活動の記録」欄は、指導要録に記載している内容を参考とし、部活動や学校内外における活動等について、その活動状況や事実を記入する。
 - ・「職場体験学習の記録」欄は、在学中に実施した職場体験学習の内容（実施先又は業種、活動内容等）を具体的に記入する。
- 「その他の事項」欄について
 - ・「性格・行動の特徴」欄は、志願者の性格面や行動面における特徴やその対応を記入する。
 - ・「学習や集団参加の様子」欄は、授業や学習活動に取り組む意欲や態度、また集団への参加の様子等について具体的に記入する。
 - ・「健康に関すること」欄は、運動機能や発作（てんかん等）に関すること等について記入する。
また、発作がある場合には必ずその対応について具体的に記入すること。
- 「合理的配慮の提供等」の欄について
 - ・志願者に現在提供している合理的配慮の内容や障がいに対する配慮事項について具体的に記入する。
- 「出欠状況」について
 - ・第1学年から第3学年の出欠状況について記入する。第3学年については、**1学期末現在**で記入すること。
 - ・「主な理由」については、欠席理由の主なものを記入し、出席停止、忌引き等は特記事項の欄に記入する。
- 「証明印」について
 - ・学校長印は、職印を押印する。

調査書

受付番号	※ 記入 しない	受検番号	※ 記入 しない
------	-------------	------	-------------

大分県立高等特別支援学校用

ふりがな 志願者氏名		さくら もりたろう 咲良 杜太郎		生年月日	平成〇〇年〇月〇〇日	
学 籍		中 学 部 平成・令和 〇年 〇月 〇〇日 〇〇市立〇〇中 学校 特別支援学級(学級種：知的) 卒業・卒業見込み 通常の学級				
障がいの状態等		(主) 知的障がい (併)		疾病等	広汎性発達障害、てんかん	
手帳	療 育 手 帳	有・無	判 定	B2	交付年月日	平成〇〇年〇月〇日
	身 体 障 害 者 手 帳	有・無	判 定		交付年月日	
	精神障害者保健福祉手帳	有・無	判 定		交付年月日	
諸検査	知 能 検 査	検 査 名	WISC-IV知能検査		(結果・IQ等) FSIQ:〇〇	
		実施機関	〇〇児童相談所		VCI:〇〇 WMI:〇〇	
			令和 〇年〇〇月〇〇日 実施		PRI:〇〇 PSI:〇〇	
	社 会 生 活 能 力 検 査	検 査 名	第3版 S-M 社会生活能力検査		(結果・IQ等) SA:〇-〇 SQ:〇-〇	
実施機関		〇〇支援学校		身辺自立:〇-〇 コミュ:〇-〇		
		令和 〇年〇〇月〇〇日 実施		移動:〇-〇 集団参加:〇-〇 作業:〇-〇 自己統制:〇-〇		
<input type="checkbox"/> 学習の記録						
教科等		評定			教科等の学習における記録	
		1年	2年	3年		
国 語					教科等の学習の状況を 簡潔な文章で記入	
社 会						
数 学					教科等の学習の状況を 簡潔な文章で記入	
理 科						
音 楽					教科等の学習の状況を 簡潔な文章で記入	
美 術						
保 健 体 育					教科等の学習の状況を 簡潔な文章で記入	
技 術 ・ 家 庭						
外 国 語					教科等の学習の状況を 簡潔な文章で記入	
特別の教科 道徳						
総合的な学習の時間						

(様式 5 号裏面)

自立活動	
特別活動の記録	
職場体験学習の記録	学習の様子や活動内容等を簡潔な文章で記入

□ その他の事項	
性格・行動の特徴	
学習や集団参加の様子	
健康に関すること	○てんかん発作あり ・発作が起きた場合は、周囲の安全に気を付けながら本人の状態を観察する。痙攣が 5 分以上続いた時には救急搬送する。(搬送先:○○病院○○科 主治医○○医師) ・発作の状態に関わらず、保護者(母親)に連絡を行う。

□ 合理的配慮の提供等
・発言の仕方や聞き方等の約束事を教室の目に付く場所に掲示した。 ・心理的な不安を取り除くために定期的に個別相談を実施した。 ・周囲の人や物が気にならないように座席を前方にした。 ・見通しを持つことができるようにスケジュールや一時間の流れを分かりやすく視覚的に伝えた。

出欠状況					
学年	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	主な理由	特記事項
1年				体調不良(○日) 事故欠(○日)	忌引き(○日)
2年				体調不良(○日)	出席停止(○日)
3年					

記載責任者氏名

上記のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

学校 学校長 印

(様式6号の1)

大分県立高等特別支援学校入学志願許可願

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

志願者氏名 _____

保護者氏名 _____

下記の事情により、大分県立

高等支援学校を志願したいので、許可くだ

さるようお願いいたします。

記

志願者	ふりがな氏名				
	生年月日	昭和・平成	年	月	日生 () 歳
	現住所	〒 _____			
	入学後の住所	〒 _____			
保護者	ふりがな氏名		志願者との関係		
	現住所	〒 _____			
許可を必要とする理由		電話 ()			

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

学校名

所在地 (〒 _____)

(TEL _____)

学校長名

印

注 保護者氏名は、自署すること。

(注) 関係書類

転勤により転居（予定）する場合

- 転勤転居予定証明書
- 転居先が明確なもの（賃貸契約書等）
- 住民票の写し（志願者及び保護者の現住所のもの）

家屋新築（購入）により転居（予定）する場合

- 建築確認通知書（建築工事契約書）の写し
又は売買契約書（登記簿謄本）の写し
- 住民票の写し（志願者及び保護者の現住所のもの）

その他特別の事情による場合

- 特別の事情を示した書類

(様式 6 号の 2)

大分県立高等特別支援学校入学志願許可書

令和 年 月 日

(志願者) 殿

大分県教育委員会教育長

印

さきに願い出のありました大分県立高等特別支援学校への志願を許可します。

(様式7号)

身体に障がいのある受検者に関する配慮申請書

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

学校名

校長名

本校生徒(卒業生) の障がいの状況は、下記のとおりですので、
入学者選考については必要な配慮を行うようお願いいたします。

障がいの種別・程度	
本校における生活状況 及び指導上の配慮内容	
備 考	

(記入上の注意)

1 聴覚障がいの場合

(1) 原則として両耳の聴力レベルが25デシベル以上の者を対象とする。ただし、補聴器の使用により、通常の受検が可能となる者を除く。

なお、医師の診断書、またはオーディオグラム等を添付すること。

(2) 「障がいの種別・程度」欄には、聴力レベル等を具体的に記入すること。

(3) 「備考」欄には、補聴器を使用し、かつ、別室において音量増大等の配慮を行った場合に、聞き取りが可能か等についての所見を記入すること。

2 その他の障がいの場合

(1) 「障がいの種別・程度」欄及び「本校における生活状況及び指導上の配慮内容」欄には、志願者の状況を具体的に分かりやすく記入すること。

なお、医師の診断書等を添付すること。

(2) 「備考」欄には、どのような手段を講じれば、受検が可能か等についての所見を記入すること。

(様式 8 号)

その他の事情に関する配慮申請書

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

学校名

校長名

本校生徒（卒業生）の状況は、下記のとおりですので、入学者選考については必要な配慮を行うようお願いします。

その他の事情の内容・ 状況等	
本校における生活状況 及び指導上の配慮内容	
備 考	

(記入上の注意)

- 1 「その他の事情の内容・状況等」欄及び「本校における生活状況及び指導上の配慮内容」欄には、受検者の現状を具体的に分かりやすく記入すること。
- 2 「備考」欄には、どのような手段を講じれば、受検が可能か等についての所見を記入すること。
- 3 上記の記述を証明できる書類等を添付すること。

(様式 9 号)

大分県立高等特別支援学校入学者選考出願前個別教育相談申請書

令和 年 月 日

学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名

在学又は出身学校名

次のとおり、出願前個別教育相談を申し込みます。

出願前個別教育相談 希望日時 * 第 3 希望まで記入 * 午前・午後に○印	第 1 希望	月	日	(曜日)	午前・午後
	第 2 希望	月	日	(曜日)	午前・午後
	第 3 希望	月	日	(曜日)	午前・午後

※ 在学又は出身学校の校長を経由し、志願校へ令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () 午後 5 時まで申し込んでください。

※ 希望日時を参考に調整し、相談日時を中学校等から連絡します。

※ 必ずしも希望どおりにならない場合があります。

《問い合わせ先》

大分県教育庁特別支援教育課

住 所 〒870-8503
大分市府内町3-10-1

電 話 097-536-1111 (代表)